



5月19日(日)「生藤山ハイキング」にでかけました。生藤山とは、聞いたことがあるようなないような…。ところで何て読むの?「ナマフジヤマ」「セイトウサン」?いえいえ、「しょうとうさん」と読みます。場所は、山梨県のような気がしますが、もしかしたら東京都かしら?いえいえ、実は「神奈川県」なのです。神奈川県藤野町にあります。

梅雨入りしたかのような不安定な天候が続き、この日も大丈夫かなあ?今年は雨にやられることが多いからなあ…。不安定ながらも、なんとか“晴れ”、八王子駅には、9名が集合しました。中央本線で上野原駅へ。ここからバスに乗るのですが、とっても狭いバスターミナルに「国分寺市主催のハイキング」の臨時バスでなんだかあわただしい雰囲気です。実は、この団体の中の2名の女性を帰りのバスで小野さんが、ナンパ(?)しました!

石楯尾神社バス停から、ぐんぐん登って三国山、そしてすぐに生藤山、ゆるやかなアップダウンの尾根歩きで、和田峠へ。歩行距離、歩行時間は長いものの、気持ちの良い森林浴を楽しむことができました。そうそう、ハイキングの途中でも、小野さんは、2名の女性に声をかけて仲良しになりました。同じ日、同じ時間に同じ山にいた人、何かの縁でしょう。「こんにちは」と挨拶ができるようになったら、今度は話しかけてみましょうか?



## 狭いバスターミナルに臨時バス

朝 7 時 30 分、JR 八王子駅横浜線ホームには、小野勝彦さん、加藤忠さん、加藤純代さん、宮部忠和さん、宮部香与子さん、河合稔さん、横山和明さん、関野ゆかりさん、町田行弘の 9 名が集合しました。7 時 37 分の高尾行きに乗るため、中央本線のホームへ移動して乗車します。

高尾駅で 7 時 47 分の快速河口湖行きに乗り換えます。高尾から 3 つ目の上野原で下車、ここからバスで生藤山の登山口、石楯尾神社前までは約 20 分です。上野原駅のバスターミナルはとても狭いのですが、この日は登山者のための臨時バスの運行があるらしく、バス自体が身動きできないようなありさまで、「国分寺の方はこのバスに乗って下さい！」バス会社の職員が案内しています。“いったい何事？”普段はきっと静かなバス乗り場がなんだかあわただしい雰囲気包まれています。“通常のバスの運行は大丈夫なんだろうな。”「なんとか神社前に行くんですが、8 時 28 分のバスですよ」「生藤山に行くのでしょう、石楯尾神社前ね。28 分の井戸行きに乗って下さい」

## すいているバス、そして茶摘みでリラックス

あわただしい臨時バスが出発してしばらくすると「井戸」行きのバスが入ってきました。生藤山という人気の山、バスも混むだろうと思ったのですが、そうでもなく、さらに、バスの出発の 3 分前に到着する電車から多くのハイカーが走り込んで来る姿を想像していたのですが、そんなこともなく、わりと空いた状態でバスは動き出しました。

国道 20 号線にぶつくとバスは右折し、すぐに左側のとても狭い道侵入し、和田峠方面への道を行きます。途中で左折し、しばらく行くと石楯尾神社前、ここで降ります。神社境内には、先に出発した臨時バスの「国分寺」の団体が体操していました。生藤山への標識に従って歩き始めます。車が 1 台通れるくらいの道幅の狭い舗装路を緩やかに上って行きます。左側にはお茶畑があり、茶摘みをしていました。“夏も近づく八十八夜が 5 月 2 日でしたから、そ



んな季節なんだなあ”まあいい形のお茶畑で茶摘みをする姿はのどかで、気持ちをリラックスさせてくれます。

## 3 分の 1? とんでもない! 6 分の 1

舗装路が途切れ、左に未舗装の登山道が現れます。薄暗い杉林の中をゆっくり歩いて行くと、小さな祠がありました。これが

「山ノ神」。ここから本格的な山道になります。突然急勾配になったジグザグの上りを歩くこと約 30 分、「佐野川峠」に到着。バス停からは 1 時間弱、ここで休憩します。汗を拭い、水を補給します。「ここで 3 分の 1 くらいですか?」「とんでもない、6 分の 1 くらいかな」「ええ!？」確かに前回の「九鬼山」は 3 時間 30 分の歩行時間でしたから、そう思うのかもしれませんが、今回は 5 時間 50 分の歩行時間です。

ここからは傾斜が緩やかな尾根道になります。周りのの木々は桜に変わっています。花は 4 月中旬が見頃だそうですが、今回はサクランボの季節、ちょっと大きなマッチ棒のようなサクランボがたくさん落ちていました。

20 分ほどで「甘草水」という水場への分岐に到着します。日本武尊が東夷征伐の時、三国峠で軍の休憩をとったのですが、山の上には水が無く、鉾で岩を突いたところ

清泉が湧いたという伝説の水です。しかし、水の量はとても少なく飲むというもなんだか...? 甘草水見物に出かけっていると、神社で体操をしていた「国分寺」の団体が追いついて来ました。入れ替わるように出発します。



## のんびりお弁当を食べている場合じゃない

少し勾配が急になった雑木林の中を歩くこと 20 分で「三国山」に到着します。三国山から生藤山は数百メートルしか離れていませんから、すぐに生藤山へ向かいます。緩やかに下ったと思うと、今度は急な狭い上りがあり、狭い山頂に放り出されま



した。なんだか呆気なく目的地に到着してしまったような感じですが、歩行距離的にはここで4分の1程度。時刻は11時、山頂が狭いのと、後から近づいてくる団体のこともあり、昼食はお預けです。記念撮影をして次のピーク「茅丸」に向かいます。山頂からは急勾配の下りの後、気持ちの良い尾根歩きがあつて、再びピークへ向かって、それほどきつくない上りがありました。生藤山から15分、「茅丸」到着。しかし、ここも狭い。気になるのは押し寄せる(?)「国分寺」、ここでも昼食はお預けとせざるを得ません。なんとなくあわただしいのですが、次のピーク「連行峰」を目指します。



## 1 回目のナンパ

山頂からの下りはやはり急勾配で、ここには、丸太の階段が設置されていました。一段一段の落差が大きい丸太階段を下るとほとんど平らな尾根が続いていました。左方向に「柏木野バス停」への分岐がある場所で、石楯尾神社から抜いたり抜かれたりしていた二人の女性ハイカーがお弁当を食べていました。小野さんがいつものように話しかけます。

しばらく尾根を歩くと「連行峰」。ここは山頂というよりは、ベンチが並んでいて尾根の途中の休憩所のような場所です。やっとのおもいでたどり着いた山頂ならば「ここで一休み」となるのですが、ここは昼食を食べようという目的でもなければあっさり通過してしまうことでしょう。時刻は11時30分、ここで昼食にします。お湯が必要な人は自分でガスを持って来ていて、まず、火を点けるというのが最近の昼食風景です。しばらくすると先程の女性ハイカーがやって来ました。「柏木野バス停」方面について「こっちの道は荒れていますかね?」と尋ねられます。さっき彼女たちが昼食を摂っていた分岐では、「荒れているから行かないほうがいい」と書かれていたのです。「ここの標識には何も書かれて



いていけませんから大丈夫だろと思いますが、和田峠に出たほうが確実に安全でしょう」「こっちの道を冒険してみたいから」「気をつけて」

## 団体の通過

さてさて、いよいよそろそろ「国分寺」が来ました。予想通り何事もないように通過していきます。途中の人に「何人の団体ですか?」「38人です」「お昼は食べたんで





すか？」「三国山で」「38人か...、50人以上に思ったんだが」約1時間ゆっくりして、「そろそろ行きましょうか」  
 “ここからは下りの尾根歩きが続き、また「醍醐丸」手前でグッと上って...”と考えていたのですが、どうしてどうして、急な下りと尾根が繰り返されて、「醍醐丸」への上りかと思うとそうではなくて、小さなピークがあって再び急勾配の下り、そして尾根。次の上りもピーク越えでまた下って尾根。“今度こそ”とようやく「醍醐丸」。少しこたえた50分でした。「醍醐丸」は八王子市の最高地点といってもそれだけの場所。



## 皮肉な100メートルの通り雨

夕方から雨が降るかもという天気予報が当たり、ポツリポツリときたところで先を急ぎます。薄暗く、そのために緑が無い茶色い杉林の中を足早に下って行きます。林の中を歩いていると雨は気になりませんが、少し明るい場所に出ると“結構降っているなぁ”約30分で和田峠に向かう林道に出ました。ところが、上に雨を遮る木がありませんから雨はダイレクトに落ちてきます。カップ



を着たり傘をさしたりして進むことにします。  
 林道を約100メートルくらい下ると「和田峠」峠の茶屋がありました。バス停までは1時間近くかかりますから、ここで「雨宿り」としましょう。茶屋では自転車の団体が雨宿りをしていました。彼らは大学の同好会でこれから調布に帰るそうです。ここからバス停までは舗装路の下り、ビール飲んじゃえ！と缶ビールで乾杯します。すぐに雨はあがり、陽が差ししてきました。蒸し暑いくらい。アルコール混じりの水分補給もほどほどにバス停に向かうことにします。



ちょっと急な下りですが舗装路ですから話しながら歩いているとすぐに「陣馬高原下バス停」に到着。バスが来ているのに並んで待っているという不思議な光景。バスの中は座れないが立っている人はまばら。もちろん乗り込みます。どうやら外にいるのは例の「国分寺」のようです。臨時バスの到着を待っているのです。臨時バスと入れ替わりバスは出発しました。

## 2回目のナンパ

このバスの乗客のほとんどはやはり「国分寺」の団体のようです。小野さんが、たまたま近くに座っていた女性に声をかけます。“おっ！また始まった”声をかけられた女性もなかなか楽しい方で会話が弾んで行きます。なんでもこの団体は国分寺市が年2回行っているハイキングの御一行ということです。私たちのことも話して、とうとう名前と住所、E-mailまで聞き出しました。小野さんすごい！今でこんなんだと昔はいったい！？こりゃ奥さんもついてきて武相マラソンに参加しちゃうよ。でも、なんで山には来ないのかしら？



町田行弘	229-1103	神奈川県相模原市橋本 5-29-12 メゾン・アン・ソレイユ 201 042-773-7415
小野勝彦	194-0041	東京都町田市玉川学園 8-22-2 042-725-8403
加藤忠	194-0033	東京都町田市木曽町 651-1 市営 1-201 042-727-8949
加藤純代	194-0033	東京都町田市木曽町 651-1 市営 1-201 042-727-8949
関野ゆかり	242-0024	神奈川県大和市福田 8-14-11-202 0462-67-4629
宮部忠和	192-0363	東京都八王子市別所 1-103-15 0426-78-0666
宮部香与子	192-0363	東京都八王子市別所 1-103-15 0426-78-0666
河合稔	194-0000	東京都町田市下小山町 2979-2 042-797-1611
横山和明	195-0062	東京都町田市大蔵町 2181-4 042-735-5662

先日は大変おつかれ様でした。  
早速メールを、送っていただきどうも有り難うございました。写真も、良い記念になりました。  
幸い？雨が降ったために、陣場山行きが中止になり内心ホットしました。  
家から 帰宅までなんと 3 1 , 3 1 0 歩で、 1 0 2 7 キロカロリー。久しぶりの山歩きでもう体力の限界だったからね。  
実は、陣馬山が、目的だったのに、.....。ちょっとガッカリ！まあ山の天気は変わりやすいから仕方ないかな。次の機会に期待しましょう。  
さて、偶然にも、同じ日の同じ頃に同じ三国山、生藤山に、登りバスでも、御一緒になるなんて我々となんか縁が、ありますネ。お蔭様でバスの中では、楽しく時が過ぎて疲れも半減、感謝しています  
本当に有難う！次は高畑山、倉岳山ですね。行きたい気持ちはやまやま だけど、都合が悪く残念です。  
いつの日かまた機会がありましたら参加して見たいと思います。  
それでは、小野さん初め皆様にくれぐれも宜しくお伝えくださいませ。  
皆様のご健康とこれからもまた元気で活躍されますことを、お祈り申し上げます。  
それでは また。  
小林暁子

